

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書 市内

施設名 伊勢崎地域活動支援センター 定員 25 名

I.利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	3	1	単身生活の見守りを兼ねた利用・クリニックからの紹介等
退所者数	3	6	他施設への入居・通所利用見られず本人希望にて・死亡により
期末登録利用者数	82	77	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	796	635	開所日	122	120	利用率	26%	21%
年度合計	1,431		年度合計	242		年度合計	24%	

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性	1	2	3	8	14	12	2	1	0	43	
女性	0	2	5	13	7	2	4	0	0	33	
計	1	4	8	21	21	14	6	1	0	76	

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害	
件数	42	3	7	1			2	3	1	8	9		76
計	67										9	0	76

II.主な活動の状況(行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/16	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	16	12/17	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	—
6/18	ピアサロン・ハッピータイムカフェ 「ゲーム&おしゃべり」	10	12/23	クリスマスミニライブ	10
7/9	ピアサロン・ハッピータイムカフェ 「みんなの誕生会」	16	1/14	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	9
10/9	ピアサロン・ハッピータイムカフェ 「ハッピーハロウィン」	14	1/17~3/14	群精社協ピアサロン (オンライン)①~④	3
10/21	ピアサポートスキルアップ研修	1	1/30	群馬医療福祉大学看護科講演	3
10/31	ハッピーハロウィン	—	3/18	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	—
11/1~31	コスモス展(作品展)	—	3/	各グループでお花見	—
11/12	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	13			
11/16	みどり市・桐生市精神保健福祉 ボランティア養成講座	3			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/1	事業所内新入職員研修 『より良い支援のために』	2	10/27	非常災害訓練	—
5/24	法人内研修・新人研修	3	11/22	法人内研修・基本的な精神疾患	2
6/14	法人内研修・虐待防止研修	3	12/14	R4年度自殺予防人材養成研修	1
6/14	防火避難訓練	2	12/20	火災避難訓練	5
6/19	法人内研修・接遇	3	2/21	法人内研修・医療観察法	2
6/17	ピアサポーター養成講座支援者研修	1	2/22	消防自主訓練	—
6/23	法人内研修・接遇	3	3/	パパ育休について	6
8/25	消防自主訓練	—	3/14	不審者侵入訓練計画	4
9/6	新入職員研修(事業所) 『より良い支援のために』	—	3/15	法人内研修・苦情解決について	2
9/15~3/28	第1~3回エルダーメンター研修	1			

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
3	3	1	0	0	0	0	0
6		1		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・ハッピータイムカフェの開催、各グループごとの外出（花見）等、感染対策のもと活動を再開することができた。
・作品展の開催、登録者全員への新聞の発送、談話の場の提供などつながりを大切にできるよう取り組みをした。
・コロナ禍において、事業所内での感染やクラスターを防ぐことが出来た。
・交流室、廊下、事務所、送迎車などの消毒・換気等感染症対策を引き続き実施している。
・ボランティア育成として地域の環境整備や花壇の花植と管理を継続する事ができた。
・ピアサポート活動や実習生の受入れ等実施することが出来た。
課題と展望
・コロナ禍で控えていた活動（SST、料理、体育館の使用等）を感染対策のもと再開していく。
・活動の縮小により、来所ができなくなった方達への関わりを検討、社会参加を広げていく。
・居場所、学びの場、仲間と過ごす場として、色々な形での活動のあり方を検討していく。
・スタッフ一人一人が病気や障害についての理解を深め、より適切で尊重した関わりが出来るようにする。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書 市外

施設名 伊勢崎地域活動支援センター 定員 25 名

I.利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	1	1	伊勢崎市内グループホーム入居後、活動参加希望
退所者数	2	1	本人の希望にて・グループホーム退去
期末登録 利用者数	39	39	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	553	526	開所日	122	120	利用率	18%	18%
年度合計	1,079		年度合計	242		年度合計	18%	

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性	0	2	5	8	7	6	2	0	0	30	
女性	0	1	0	4	2	1	1	0	0	9	
計	0	3	5	12	9	7	3	0	0	39	

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害	
件数	29	1	1				1	3		1	3		39
計	36										3	0	39

II.主な活動の状況(行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/16	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	16	12/17	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	—
6/18	ピアサロン・ハッピータイムカフェ 「ゲーム&おしゃべり」	10	12/23	クリスマスミニライブ	10
7/9	ピアサロン・ハッピータイムカフェ 「みんなの誕生会」	16	1/14	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	9
10/9	ピアサロン・ハッピータイムカフェ 「ハッピーハロウィン」	14	1/17~3/14	群精社協ピアサロン (オンライン)①~④	3
10/21	ピアサポートスキルアップ研修	1	1/30	群馬医療福祉大学看護科講演	3
10/31	ハッピーハロウィン	—	3/18	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	—
11/1~31	コスモス展(作品展)	—	3/	各グループでお花見	—
11/12	ピアサロン・ハッピータイムカフェ	13			
11/16	みどり市・桐生市精神保健福祉 ボランティア養成講座	3			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/1	事業所内新入職員研修 『より良い支援のために』	2	10/27	非常災害訓練	—
5/24	法人内研修・新人研修	3	11/22	法人内研修・基本的な精神疾患	2
6/14	法人内研修・虐待防止研修	3	12/14	R4年度自殺予防人材養成研修	1
6/14	防火避難訓練	2	12/20	火災避難訓練	5
6/19	法人内研修・接遇	3	2/21	法人内研修・医療観察法	2
6/17	ピアサポーター養成講座支援者研修	1	2/22	消防自主訓練	—
6/23	法人内研修・接遇	3	3/	パパ育休について	6
8/25	消防自主訓練	—	3/14	不審者侵入訓練計画	4
9/6	新入職員研修(事業所) 『より良い支援のために』	—	3/15	法人内研修・苦情解決について	2
9/15~3/28	第1~3回エルダーメンター研修	1			

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
3	3	1	0	0	0	0	0
6		1		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・ハッピータイムカフェの開催、各グループごとでの外出（花見）等、感染対策のもと活動を再開することができた。
・作品展の開催、登録者全員への新聞の発送、談話の場の提供などつながりを大切にできるよう取り組みをした。
・コロナ禍において、事業所内での感染やクラスターを防ぐことが出来た。
・交流室、廊下、事務所、送迎車などの消毒・換気等感染症対策を引き続き実施している。
・ボランティア育成として地域の環境整備や花壇の花植と管理を継続する事ができた。
・ピアサポート活動や実習生の受入れ等実施することが出来た。
課題と展望
・コロナ禍で控えていた活動（SST、料理、体育館の使用等）を感染対策のもと再開していく。
・活動の縮小により、来所ができなくなった方達への関わりを検討、社会参加を広げていく。
・居場所、学びの場、仲間と過ごす場として、色々な形での活動のあり方を検討していく。
・スタッフ一人一人が病気や障害についての理解を深め、より適切で尊重した関わりが出来るようにする。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書 市内

施設名 地域活動支援センターⅢ型 定員 15 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	1	1	日中の活動場所として
退所者数	0	2	他事業所利用のため
期末登録利用者数	18	17	

(延べ利用者数および利用率)

期	上半期	下半期	期	上半期	下半期	期	上半期	下半期
述べ利用者数	551	519	開所日	122	120	利用率	30%	29%
年度合計	1,070		年度合計	242		年度合計	29%	

(年齢別登録者数)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
計	0	0	4	4	7	1	1	0	0	17

(男女比)

	男性	女性	計
計	9	8	17

(診断別登録者数)

診断名	統合失調症	気分障害	適応障害	摂食障害	高次脳機能障害	人格障害	発達障害	知的障害	その他	計
人数	14	2							1	17

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
	熱中症予防対策について	6			
	感染症、食中毒予防対策について	7			
	防火避難訓練	5			
	非常災害訓練〈地震〉	1			
	防火避難訓練	5			

III. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
	防火避難訓練	2		非常災害訓練〈地震〉	2
	法人内研修 虐待防止	1			

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書 市外

施設名 地域活動支援センターⅢ型 定員 15 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	1		日中の活動場所として
退所者数			
期末登録利用者数	6	6	

(延べ利用者数および利用率)

期	上半期	下半期	期	上半期	下半期	期	上半期	下半期
延べ利用者数	186	281	開所日	122	120	利用率	10%	16%
年度合計	467		年度合計	242		年度合計	13%	

(年齢別登録者数)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
計	0	0	1	2	1	2	0	0	0	6

(男女比)

	男性	女性	計
計	5	1	6

(診断別登録者数)

診断名	統合失調症	気分障害	適応障害	摂食障害	高次脳機能障害	人格障害	発達障害	知的障害	その他	計
人数	6									

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
	熱中症予防対策について	4			
	感染症、食中毒予防対策について	3			
	防火避難訓練	1			
	非常災害訓練〈地震〉	2			
	防火避難訓練	1			

III. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
	防火避難訓練	2		非常災害訓練〈地震〉	2
	法人内研修 虐待防止	1			

伊勢崎市障害者基幹相談支援センター
指定相談支援事業所 楓
令和4年度 実績報告

支援方法									
	電話	来所	訪問	電子メール	同行	関係機関	個別 支援 会議	その他	計
4月	116	31	29	13	12	108	0	0	309
5月	112	29	14	14	8	113	0	0	290
6月	112	40	33	16	8	128	2	1	340
7月	77	26	28	24	8	110	2	1	276
8月	108	25	18	24	12	108	1	0	296
9月	113	27	14	35	6	117	1	1	314
10月	96	25	21	40	9	120	1	1	313
11月	106	26	25	34	14	100	2	0	307
12月	84	17	26	22	6	111	4	0	270
1月	80	16	26	16	5	104	1	0	248
2月	88	27	28	14	11	112	0	6	286
3月	114	22	27	32	10	125	1	0	331
計	1206	311	289	284	109	1356	15	10	3580

支援内容別													
	福祉 サー ビス 利用	障 害・ 病状 の理 解	健 康・ 医療	不安 の解 消・ 安定	保 育・ 教育	家 族・ 人間 関係	家 計・ 経済	生活 技術	就労	社会 参 加・ 余暇	権利 擁護	その他	計
4月	120	6	49	88	10	22	11	3	15	1	0	1	326
5月	110	0	73	79	8	12	11	0	16	0	0	0	309
6月	158	12	55	97	9	11	10	1	13	0	0	0	366
7月	112	6	60	74	15	14	5	1	15	0	0	0	302
8月	107	0	61	114	11	18	2	2	4	0	2	1	322
9月	93	7	90	120	6	20	3	1	9	0	1	0	350
10月	110	3	58	117	3	16	9	4	17	0	1	0	338
11月	100	0	59	110	8	13	7	2	28	0	2	1	330
12月	94	1	45	91	2	14	18	14	15	0	0	2	296
1月	95	7	26	81	1	23	7	12	17	1	0	0	270
2月	112	13	35	95	1	24	9	8	24	1	0	1	323
3月	142	6	46	103	13	26	5	2	17	0	0	0	360
計	1353	61	657	1169	87	213	97	50	190	3	6	6	3892

障害種別										
	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	児童	難病	その他	計
4月	14	52	186	93	0	0	4	0	3	352
5月	10	31	162	84	0	0	7	0	1	295
6月	8	34	206	103	0	0	3	0	0	354
7月	5	30	169	85	0	0	3	0	1	293
8月	6	43	162	88	1	0	8	0	1	309
9月	7	45	179	95	0	0	4	0	0	330
10月	16	35	183	87	2	0	11	0	0	334
11月	10	41	183	80	3	0	5	0	0	322
12月	16	37	163	84	0	0	6	0	0	306
1月	9	39	153	70	1	0	7	0	0	279
2月	14	36	165	64	3	0	3	0	0	285
3月	14	43	178	91	0	0	13	0	0	339
計	129	466	2089	1024	10	0	74	0	6	3798

●自立支援協議会 参加状況

- ・定例会 月1回参加
- ・相談支援部会 月1回参加
- ・精神障害者地域包括ケアシステム構築検討部会 年4回（6月・10月・12月・3月）参加
- ・地域生活支援拠点等整備部会 年3回（7月・10月・3月）参加

●職員研修

日付	研修名	場所	参加者
6月14日	法人内 虐待防止研修	伊勢崎地域活動支援センター	小池
6月21日	自立支援委員会（民生委員）全体研修会	プラザアリア	小池（講師）
8月23日	相談支援従事者初任者研修1日目	群馬産業技術センター研修室	小池（演習講師）
8月24日	相談支援従事者初任者研修2日目	群馬産業技術センター研修室	小池（演習講師）
9月27日	相談支援従事者初任者研修3日目	県庁281会議室	小池（演習講師）
10月11日	発達障害支援者研修（基礎編）	オンライン（Zoom）	小池
10月21日	発達障害支援者研修（応用編）	オンライン（Zoom）	小池
11月1日	県立精神医療センター地域連携交流会	県立精神医療センター	小池
11月8日	相談支援従事者初任者研修4日目	県庁281会議室	小池（演習講師）
11月9日	相談支援従事者初任者研修5日目	県庁281会議室	小池（演習講師）
1月17日	重層的支援体制整備勉強会	オンライン（Zoom）	小池
1月23日	群馬県居住支援サービス連絡協議会 設立記念シンポジウム	エテルナ高崎	小池
2月3日	ピアとリカバリーを考える ～病院交流会を通して～	オンライン（Zoom）	小池
2月28日	ピアサポート活用事業 ピアサロン	オンライン（Zoom）	小池

R4年度実績報告

事業名 指定特定相談支援（計画相談）

1. 利用者状況

令和5年3月31日現在

月	計画作成		モニタリング		会議・訪問		計
	男	女	男	女	男	女	
4	4	3	18	15		2	42
5	7	5	12	7		3	34
6	8	6	23	11		3	51
7	4	5	12	9		2	32
8	8	6	15	5		3	37
9	9	8	10	8	2	3	40
10	8	7	8	9		2	34
11	3	0	15	14		3	35
12	6	1	20	17	2	1	47
1	6	9	18	14			47
2	7	5	15	14	1		42
3	4	4	8	10		6	32
計	74	59	174	133	5	28	473

市町村別

	計画作成		モニタリング		会議・訪問		計
	男	女	男	女	男	女	
伊勢崎市	53	48	125	111	2	28	367
前橋市	12	4	17	5			38
高崎市	1		3	3			7
太田市	2	2	7	4			15
桐生市		1	4	3			8
安中市			1				1
藤岡市		1		3			4
沼田市	1		3				4
渋川市	1		2		3		6
玉村町	3	2	4	3			12
千代田町		1		1			2
大泉町			2				2
草津町			2				2
板倉町	1						1
熊谷市			4				4
計	74	59	174	133	5	28	473

2. 会議

（2）会議・その他

開催日	会議名	開催場所	参加者
4月20日	伊勢崎市相談支援連絡会	障害者センター 多目的室	高山

5月18日	伊勢崎市相談支援連絡会	オンライン	高山
5月20日	伊勢崎市自立支援協議会定例会	オンライン	高山
6月15日	伊勢崎市相談支援連絡会	オンライン	高山
6月17日	伊勢崎市自立支援協議会定例会	オンライン	高山
6月28日	精神障害者地域包括ケアシステム 構築検討会	障害者センター 多目的室	鈴木
7月6日	伊勢崎市地域生活拠点等整備部会	障害者センター 多目的室	高山
7月15日	伊勢崎市自立支援協議会定例会	オンライン	高山
10月7日	精神障害者地域包括ケアシステム 構築検討会	障害者センター 多目的室	鈴木
10月13日	伊勢崎市地域生活拠点等整備部会	障害者センター 多目的室	高山
10月21日	伊勢崎市自立支援協議会定例会	オンライン	高山
12月16日	伊勢崎市自立支援協議会定例会	オンライン	高山
12月21日	相談支援連絡会	オンライン	高山
3月3日	精神障害者地域包括ケアシステム 構築検討会	障害者センター 多目的室	鈴木
3月7日	伊勢崎市地域生活拠点等整備部会	オンライン	高山
3月15日	相談支援連絡会	オンライン	高山

3. 職員研修

(1) 施設内研修

研修名	研修場所	参加者
新入職員研修	支援センター 交流室	高山
虐待防止研修	支援センター 交流室	高山
接遇研修	支援センター 交流室	鈴木
基本的な精神疾患	支援センター 交流室	高山
医療観察法	支援センター 交流室	高山
苦情解決について	ベルガモット 食堂	鈴木・高山

(2) 施設外研修

研修名	研修場所	参加者
相談支援連絡会・定例会合同研修会 「発達障害者支援」	オンライン	高山
相談支援連絡会・定例会合同研修会 「発達障害者の就労支援」	オンライン	高山
オープンダイアログについて	群馬県生涯学習センター	高山

4. 課題・評価

課題

・計画相談を始め、基本的に対面での支援なので、新型コロナウイルス等への感染症対策を徹底し、また相手にも理解と協力を求めていくが必要になっている。



令和4年度 地域活動支援センターⅠ型 相談状況報告書(くるみ)

		電話相談	来所相談	訪 問	延べ件数			電話相談	来所相談	訪 問	延べ件数
4月	平日昼間	82	12	12	106	10月	平日昼間	95	18	4	117
	土・日・祝	79	145	1	225		土・日・祝	81	179	0	260
	計	161	157	13	331		計	176	197	0	373
5月	平日昼間	89	19	8	116	11月	平日昼間	69	10	7	86
	土・日・祝	82	174	0	256		土・日・祝	87	153	2	242
	計	171	193	8	372		計	156	163	9	328
6月	平日昼間	83	12	7	102	12月	平日昼間	89	8	7	104
	土・日・祝	49	117	0	166		土・日・祝	120	168	4	292
	計	132	129	7	268		計	209	176	11	396
7月	平日昼間	102	6	7	115	1月	平日昼間	86	17	5	108
	土・日・祝	52	164	3	219		土・日・祝	96	193	1	290
	計	154	170	10	334		計	182	210	6	398
8月	平日昼間	100	13	3	116	2月	平日昼間	92	12	9	113
	土・日・祝	66	139	1	206		土・日・祝	55	140	2	197
	計	166	152	4	322		計	147	152	11	310
9月	平日昼間	85	27	12	124	3月	平日昼間	124	21	32	177
	土・日・祝	49	145	15	209		土・日・祝	94	145	1	240
	計	134	172	27	333		計	218	166	33	417

		電話相談	来所相談	訪 問	延べ件数
総計	平日昼間	1,096	175	113	1,384
	土・日・祝	910	1,862	30	2,802
	計	2,006	2,037	143	4,186

令和4年度 夜間相談状況報告書

		電話相談	来所相談	訪 問	延べ件数			電話相談	来所相談	訪 問	延べ件数
4月	夜 間	295	18	1	314	10月	夜 間	214	17	2	233
	計	295	18	1	314		計	214	17	2	233
5月	夜 間	273	18	0	291	11月	夜 間	221	15	0	236
	計	273	18	0	291		計	221	15	0	236
6月	夜 間	232	22	0	254	12月	夜 間	217	23	0	240
	計	232	22	0	254		計	217	23	0	240
7月	夜 間	224	35	0	259	1月	夜 間	245	18	1	264
	計	224	35	0	259		計	245	18	1	264
8月	夜 間	229	39	0	268	2月	夜 間	226	10	0	236
	計	229	39	0	268		計	226	10	0	236
9月	夜 間	251	34	0	285	3月	夜 間	261	21	0	282
	計	251	34	0	285		計	261	21	0	282

		電話相談	来所相談	訪 問	延べ件数
総計	夜 間	2,888	270	4	3,162
	計	2,888	270	4	3,162

令和4年4月～9月 実績報告書

施設名 伊勢崎市就労準備支援事業アイリス

1. 利用者の状況

(1)登録と利用状況

①登録数と利用数(述べ人数と実人数:述べ利用数は半日を1回単位とする)

	生活保護						生活困窮						述べ利用 数 計	実利用数 計
	述べ利用数		実利用数		登録数		述べ利用数		実利用数		登録数			
月	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4	31	5	31	5	3	1	4	9	4	9	1	1	49	49
5	34	7	34	7	3	1	5	9	5	9	1	1	55	55
6	49	8	49	8	4	1	12	9	12	9	1	1	78	78
7	36	4	36	4	4	1	6	8	6	8	1	1	54	54
8	34	7	34	7	4	1	10	7	10	7	1	1	58	58
9	26	5	26	5	4	1	8	9	8	9	1	1	48	48
計	210	36	210	36			45	51	45	51			342	342

②9月末住所別登録数

居住地	生活保護				生活困窮				備考
	男	期間	女	期間	男	期間	女	期間	
寿町	1								
連取町	1								
南千本木	1								
三光町					1		1		
今泉町			1						
太田町	1								

(2)新規利用者の状況

①利用前の状況(就労)

	生活保護					生活困窮					備考
年代別	就労経験無		就労経験有			就労経験無		就労経験有			
	男	女	男	女	離職期間	男	女	男	女	離職期間	
50			1		3年9か月						
20			1		2年						
30			1		13年						
50			1		5年						
20		1									
30						1					
20							1				
計	0	1	4	0		1	1	0	0		

②利用前の状況(同居・単身)

	生活保護				生活困窮				備考
年代別	同居		単身		同居		単身		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
20		1	1			1			
30			1		1				
40									
50			2						
計	0	1	4	0	1	1	0	0	

③-1利用時の主特性(生活保護)

	就職活動困難		就職定着困難		社会的孤立		精神的課題		障害(疑い)		対人交流苦手		能力の課題		その他	
年代別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20									1			1				
30					1											
40																
50	2															
計	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0

③-2利用時の主特性(生活困窮者)

	就職活動困難		就職定着困難		社会的孤立		精神的課題		障害(疑い)		対人交流苦手		能力の課題		その他	
年代別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20		1														
30											1					
40																
50																
計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

(2)退所者の状況
なし

2. 活動状況

(1)内容(半日・1回単位とする)

	日常生活自立支援	社会生活自立支援	就労自立	対話	その他
月	生活リズム・健康 家事・学び等	交流・WRAP SST・交流サロン等	パソコン・マナー・就労体験 職探し・ハローワーク	面接・個別学び 個別WRAP	打ち合わせ 情報交換等
4	6	0	21	20	2
5	5	0	17	32	1
6	9	1	24	41	3
7	8	0	9	37	0
8	10	2	7	39	0
9	6	0	11	31	0
計	44	3	89	200	6

(2)場所(半日・1回単位とする)

月	明清会 活動合同	明清会 場の共有	明清会 個室	自宅 電話・メール	地域	その他 (連携)
4	13	8	3	17	6	2
5	11	6	1	31	5	1
6	13	10	6	39	9	1
7	5	4	3	34	8	0
8	1	8	2	37	10	0
9	6	5	2	29	6	0
計	49	41	17	187	44	4

3. 会議

会議・その他

開催日	会議名	開催場所	議事内容
6月16日	就労準備支援員打ち合わせ会議	伊勢崎市役所社会福祉課	打ち合わせ会議

4. 職員研修

(1)施設内研修

開催日	研修名	研修場所	参加者名
5月24日	令和4年度新任職員研修	地域活動支援センター交流室	池田、鈴木
6月23日	令和4年度第2回法人内研修「接遇」	地域活動支援センター交流室	鈴木

(2) 施設外研修

研修名	研修場所	参加者名
令和4年度生活困窮者自立支援制度人材養成研	オンライン	鈴木
令和4年度生活困窮者自立支援制度人材養成研	ZOOM	鈴木

5. 課題と展望・評価

【評価】

- ・ 三密をさける、アルコール消毒、マスク、パーテーション設置を行い新型コロナウイルス対策を行っている。
- ・ 見学対応は、個人で1週間の体温測定(健康管理チェック)等を行って頂くのを条件とし、ご案内している。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため社会福祉課の打ち合わせ会議が中止、個別で社会福祉課担当職員や他事業所と情報共有・情報交換を行っている。
- ・ ベルガモットの園芸・農業部門の方々と合同で就労体験を行っているが、コミュニケーションを図る練習の場となっている。

【課題と展望】

- ・ 利用が途絶えがちなメンバーへの継続的な丁寧な関わりが必要である。
- ・ 一人ひとりに合わせて、焦らず個別に対応していくことが必要。
- ・ 地域活動支援センターと協力しプログラムやイベント参加を通じて、対人関係やさまざまな体験を行っていく。
- ・ 継続して利用していただくために、随時、個別面談を設定し、本人の意向を確認していく。

6. 苦情解決

(1) 苦情受付状況 (有 ☒ 無) (件数 件)

(2) 事例

(3) 対応

(4) 今後について

7. リスクマネジメント

(1) ひやりはっと (有 ☒ 無) (件数 件)

(2) 事故 (有 ☒ 無) (件数 件)

(3) 事例

(4) 対応

(5) 今後について

施設名 伊勢崎市就労準備支援事業アイリス

1. 利用者の状況

(1)登録と利用状況

①登録数と利用数(述べ人数と実人数:述べ利用数は半日を1回単位とする)

	生活保護						生活困窮						述べ利用 数 計	実利用数 計
	述べ利用数		実利用数		登録数		述べ利用数		実利用数		登録数			
月	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
10	47	4	47	4	4	1	15	11	15	11	1	1	77	77
11	46	9	46	9	4	1	10	8	10	8	1	1	73	73
12	41	9	41	9	4	1	13	12	13	12	1	1	75	75
1	48	12	48	12	4	1	11	11	11	11	1	1	82	82
2	43	9	43	9	4	1	10	13	10	13	1	1	75	75
3	35	11	35	11	3	1	15	13	15	13	1	1	74	74
計	260	54	260	54			74	68	74	68			456	456

②3月末住所別登録数

居住所	生活保護				生活困窮				備考
	男	期間	女	期間	男	期間	女	期間	
寿町	1								
連取町	1								
三光町					1		1		
今泉町			1						
太田町	1								

(2)新規利用者の状況

なし

(2)退所者の状況

①退所者の状況(生活保護者)

	経済的自立		部分的自立								福祉医療		その他	
	就労		アルバイト		職業訓練		就職活動		学業					
年代別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
30代											1			
計														

②退所者の状況(生活困窮)

なし

2. 活動状況

(1) 内容(半日・1回単位とする)

	日常生活自立支援	社会生活自立支援	就労自立	対話	その他
月	生活リズム・健康 家事・学び等	交流・WRAP SST・交流サロン等	パソコン・マナー・就労体験 職探し・ハローワーク	面接・個別学び 個別WRAP	打ち合わせ 情報交換等
10	11	2	16	48	0
11	10	0	21	42	0
12	6	0	18	51	0
1	4	0	29	46	3
2	0	0	28	44	3
3	1	0	33	39	1
計	32	2	145	270	7

(2) 場所(半日・1回単位とする)

月	明清会 活動合同	明清会 場の共有	明清会 個室	自宅 電話・メール	地域	その他 (連携)
10	12	6	2	44	13	0
11	11	10	3	39	10	0
12	9	9	3	48	6	0
1	18	11	3	43	4	3
2	15	13	1	42	1	3
3	20	11	0	39	3	1
計	85	60	12	255	37	7

3. 会議

会議・その他

開催日	会議名	開催場所	議事内容
10月13日	就労準備支援員打ち合わせ会議	NPO法人ココロのベースキ	打ち合わせ会議
12月7日	就労準備支援員打ち合わせ会議	アイリス	打ち合わせ会議
2月9日	就労準備支援員打ち合わせ会議	伊勢崎市役所	打ち合わせ会議

(1) 施設内研修

開催日	研修名	研修場所	参加者名

(2) 施設外研修

開催日	研修名	研修場所	参加者名
12月15日～16日	令和4年度生活困窮者自立支援プロジェクト	Gメッセ群馬	鈴木
12月20日	令和4年度生活困窮者自立支援制度	ZOOM	鈴木
2月7日	群馬県サービス管理責任者等更新講習	ZOOM	鈴木

【評価】

- ・ 令和4年10月より、企業開拓に長けたNPO法人ココロのベースキャンプが就労準備支援事業の委託を受けたこともあり、対象者の特性に合わせて、アイリスで生活面・社会面のスキルの向上、ベースキャンプで具体的な就労支援という形で役割分担を行いながらの支援が可能になった。アイリスから4名がベースキャンプにも登録し、2事業所から違った側面で支援を受けている(内1名は、主たる支援機関をベースキャンプへ移している)。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況の変化、感染症法の位置づけの変更もあり、アイリスの活動は活発になりつつあるが、三密をさける、アルコール消毒、マスク、パーテーション設置を行い新型コロナウイルス対策は継続して行っている。
- ・ 就労継続支援B型事業所の正式利用のため、1名が契約解除となった。

【課題と展望】

- ・ 利用者の特性に合わせた継続的な丁寧な関わりが必要。活動場所を限定しない、その人にあったいろいろな支援メニューを整備する。
- ・ 就労準備支援事業の周知を広く行う必要がある。
- ・ 就労を希望している利用者のニーズに応えるべく、見学や体験が可能な協力企業の開拓が必要である。
- ・ 一般就労後の定着支援。他事業所への移行時、各事業所への申し送り、関係機関との情報共有の徹底を行い、途切れない支援体制

6. 苦情解決

(1) 苦情受付状況 (有 ☒ 無) (件数 件)

(2) 事例

(3) 対応

(4) 今後について

7. リスクマネジメント

(1) ひやりはっと (有 ☒ 無) (件数 件)

(2) 事故 (有 ☒ 無) (件数 件)

(3) 事例

(4) 対応

(5) 今後について

令和4年度上半期における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告(下半期報告)

＜集計対象期間：令和4年10月～令和5年3月＞

センター名 障がい者就業・生活支援センター メルシー (センター番号) 1005

1. 上半期末時点の支援対象障害者数(登録者数) (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)								
在職中	119	28	194	55	182	29	22	2	2	3	524
求職中	82	18	70	9	190	27	24	1	0	2	369
その他	9	4	41	10	59	5	2	2	0	1	114
合 計	210	50	305	74	431	61	48	5	2	6	1007

2. 新規求職者数(上半期延べ人数) (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)								
	10	1	22	1	29	11	10	0	0	1	72

3. 支援対象障害者に対する相談・支援件数 (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)								
	230	27	386	99	863	224	183	4	27	10	1703

注)直接本人・家族を支援するものに限り、他機関とのケース会議(本人不在)等の間接支援は含まない。

4. 職業準備訓練又は職場実習のあっせん状況 (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)								
職業準備訓練	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	6
職場実習	5	2	3	1	12	3	2	0	1	0	23
合 計	5	2	3	1	14	7	6	0	1	0	29

5. 一般事業所への就職件数(1ヵ月以上の雇用) (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)								
	9	2	5	0	16	7	6	0	1	0	37

注)週労働時間数は問わない

6. 職場訪問による職場定着支援の実施件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)								
	14	3	47	8	36	24	18	0	0	6	121

◇ 事業実施状況表〔生活支援〕 ◇

対象期間： 令和4年04月～令和4年09月

○ 生活支援担当職員の活動状況

	R4/4	R4/5	R4/6	R4/7	R4/8	R4/9	R4/10	R4/11	R4/12	R5/1	R5/2	R5/3
支援実人数	71	68	45	35	48	53	47	55	40	52	50	55
支援延回数	101	105	55	52	56	76	64	68	46	84	77	93

※ 上記の内訳

	電 話	家庭訪問	職場訪問	来 所	他機関訪問	その他
支援実人数	229	14	72	144	56	104
支援延回数	418	18	90	156	65	130

週末活動

	R4/4	R4/5	R4/6	R4/7	R4/8	R4/9	R4/10	R4/11	R4/12	R5/1	R5/2	R5/3
支援実人数	3	7	6	6	5	5	5	5	7	0	3	4
支援者数	2	2	2	3	2	2	2	2	2	0	1	2

4月 ウォーキング
 5月 ミニバスハイク
 6月 週末活動年間計画作成
 7月 WRAP 元気回復プラン
 8月 ビデオ鑑賞
 9月 ゲーム トランプ
 10月 食事会、スマーク散策
 11月 クリスマス会の企画について グループワーク
 12月 クリスマス会
 1月 休み
 2月 映画鑑賞 スマーク
 3月 次年度話し合い

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 ベルガモット 定員 40 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	5	0	上期：移行1名、病院・ディケア2名、GH1名、生活困窮(アイリス) 1名
退所者数	3	1	上期：就労1名、A型1名、死亡：1名 下期：死亡
期末登録利用者数	58	56	

(延べ利用者数および利用率)

期	上半期	下半期	期	上半期	下半期	期	上半期	下半期
延べ利用者数	3,652	3,313	開所日	127	126	利用率	72%	66%
年度合計	6,965		年度合計	253		年度合計	69%	

(年齢別登録者数)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
計	1	10	8	22	9	4	2	0	0	56

(男女比)

	男性	女性	計
計	33	23	56

(診断別登録者数)

診断名	統合失調症	気分障害	適応障害	摂食障害	高次脳機能障害	人格障害	発達障害	知的障害	その他	計
人数	31	2	2	0	0	1	9	6	5	56

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5月31日	職業準備訓練(ハローワーク)	1	3月16日	職業準備訓練(企業見学)	3
6月28日	職業準備訓練 (アンガーマネジメント)	1	3月29日	レクリエーション (波志江沼公園・パルファン)	7
7月18日	レクリエーション (ゲーム大会)	4			
8月31日	職業準備訓練(ハローワーク)	1			
10月19日	レクリエーション (大室公園散策・パルファン)	6			
12月20日	職業準備訓練(PC練習)	1			
12月21日	職業準備訓練(ハローワーク)	1			
2月14日	職業準備訓練(ハローワーク)	2			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5月24日	法人内研修（新人研修）	3	1月5日	法人内研修（虐待防止）	8
6月6日	群馬県社会就労センター協議会定時総会	1	1月12日	第2回事例検討会	8
6月6日	令和4年度ぐんまセルフ工賃向上研修会	1	1月30日 ～2月2日	男性の育児休業取得促進について	13
6月14日	法人内研修（虐待防止）	3	2月27日	発達障害者の就労支援	4
7月14日	第1回事例検討会	9	3月7日	マスク着用継続のお願い	10
7月21日	伊勢崎市就労支援協議会企業見学	1	3月15日	法人内研修（苦情解決）	3
9月15日	第1回エルダーメンター研修	1	3月28日	第3回エルダーメンター研修	1
9月	法人内研修（疾患理解）	8	3月27日 ・30日	第3回事例検討会	13
10月6日 ～ 11月15日	令和4年障害福祉サービス事業所等の留意点について	14			
11月8日	第2回エルダーメンター研修	3			
11月	法人内研修（感染症）	11			

Ⅳ. 平均月額工賃

期	上半期	下半期
平均月額工賃	12,836	12,619
年度計	12,761	

Ⅴ. 一般就労実績

期	上半期	下半期	備考（主な就労先）
利用者数	0	1	ハートフルスクールサポートステーション
年度合計	1		

Ⅵ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

	ヒヤリハット		事故		苦情	
期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
件数	0		19		0	
合計	0		19		0	

Ⅶ. 評価・課題と展望

評価
令和4年度 弁当売上平均 1,399,711円/月、売上平均 1,649,711円/月 工賃平均 602,954円/月、1人あたり12,761円/月、平均時給400円 (令和3年度目標平均工賃12,239円) 新型コロナウイルス感染症の影響で特別注文の弁当は注文が減っていたが、令和4年度は少しずつ特注弁当の注文が入るようになった。安定して毎日の弁当注文があった。 軽作業は5社より請負っていて、96,401円/月売上があり99.7%が粗利益になり利益増につながっている。優先調達法注文が1,412,866円の3件あった。
3年間の新型コロナウイルス陽性者は職員2名、家族7名、利用者2名だった。
利用者定員・・・令和4年就労継続支援B型事業定員を40名、上期が72%だったが下期のベルガモットの通所率が下がり、通所率が69%になった。パルファンの通所率は前年比138%に増加したが、ベルガモットの通所率が減少したため下期の通所率が下がった原因となった。令和5年4月より2名通所者が増える予定。
1年間10日の祝日開所予定し 開所日は、令和3年度248日 令和4年度252日 101.6%と開所日が4日増えた。
就職者：上期の就職者定着1名、下期の就職者1名、令和5年度就労実績2名となった。
課題と展望
利用率：令和4年 通所者27.4人/1日、通所率69%/1日 新規利用者5人、退所者4名 利用者は微増になっている。 体調不良で休む利用者がいるため、休みの利用者が少ない月の通所率は76%となっている。 新規利用者と通所者の利用率を向上させ、通所率75%を目標とする。
令和4年就職者2名、令和5年就職者2名を目標とする。
職員間のコミュニケーションでトラブルになることがある。虐待にならないよう、虐待研修・チェックリスト等を持って虐待の意識向上が必要である。法人内研修や事例検討会を行い、職員の資質向上も課題である。ストレスを抱えている職員の面接等を行い個別対応を行っていく。
スタッフミーティングを行い、情報の共有をして職員間の支援方針や工賃向上やコミュニケーションを円滑にできるようにしていく。
パルファン・・・群馬県立精神医療センターの入院患者の減少により売り上げが減少している。積立金切り崩し令和5年1月に15,000円、2月に20,000円補填して工賃を支払った。 季節や新しいメニューを企画して、お客様が飽きないメニュー作りと100～120円で食べられる単価を維持していく工夫をする。一人の客単価を上げていく。空き時間を利用して、クッキーを作り売り上げを作る。
園芸・・・さくらの委託農業に参加して、施設外就労収入をアップする。火曜日は波志江沼公園清掃に参加していく。
感染症等を予防し、感染症が拡大しないよう継続していく。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 ガーデンタイム 定員 20 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	1	0	
退所者数	1	1	本人希望、就労（A型）
期末登録利用者数	38	37	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	2,747	2,640	開所日	129	125	利用率	106.5%	105.6%
年度合計	5,387		年度合計	254		年度合計	106%	

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性	0	1	1	4	5	1	0	1	0	13	
女性	1	4	6	6	5	2	0	0	0	24	
計	1	5	7	10	10	3	0	1	0	37	

(診断別登録者数)

分類	精神障害											計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害
件数	19	1	5	0	2	0	0	3	0	3	4	0
計	33										4	0

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/3	事業所内レクリエーション	メ13名 St4名			
8/11	事業所内レクリエーション	メ13名 St4名			
1/4	事業所内レクリエーション	メ11名 St4名			

III. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/13	事例検討① 虐待につながる言葉	St9名	12/23	みんなの店 道の駅販売促進セミナー	St1名
5/24	法人内研修① 新入職員研修 『明清会の理念、事業所紹介 等』	5名	1/25	アートと福祉を繋ぐ云々障害のある人のアート活動支援の基礎研修と交流会	St1名

6/14	法人内研修② 虐待防止研修	3名	1/31	アーツ前橋合同消防訓練	St1名 メ2名
7/16	食中毒・熱中症予防研修	St4名 メ13名	2/3	ピア シンポジウム	St1名 メ1名
9/	職業評価・虐待チェックリスト実施	全職員	2/7	みんなの店 道の駅shopcafe Qu販 売促進セミナー まとめ	St2名
9/15	エルダーメンター研修① 『支援てなに？』	4名	2/15	消防訓練	St6名 メ15名
9/16	事例検討② よい声かけ	St7名	2/21	法人内研修 医療観察法	St2名
9/30	消防訓練	St7名 メ13名	2/24	『定着支援地域連携モデルに係る調 査事業』事業報告セミナー	St1名
10/18	非常災害訓練	St6名 メ12名	3/	障害者の虐待防止・権利擁護について	St3名
10/28	みんなの店 道の駅店販売促進セ ミナー	St1名	3/7	防犯訓練	St6名 メ11名
11/9	インフルエンザ・ノロウィルス研 修	St4名 メ14名	3/14	ピアサロン	St1名 メ1名
12/15	令和4年度障害者虐待防止・権利 擁護研修	St1名	3/15	法人内研修 苦情解決	St1名
12/15	令和4年度障害者虐待防止・権利 擁護研修	St1名	3/28	エルダーメンター研修② 事例検討	St3名

Ⅳ. 平均月額工賃

期	上半期	下半期
平均月額工賃	11,352	11,378
年度計	11,420	

Ⅴ. 一般就労実績

期	上半期	下半期
利用者数	1	0
年度合計	1	

Ⅵ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
1	2	3	2	0	0	0	0
3		5		0		0	

Ⅶ. 評価・課題と展望

評価
・平均利用者数は20.8人／日、稼働率は104.1%（施設外就労を入れると105.9%／実績報告値）と、100%超を維持。
・平均工賃実績は11,420円（群馬県への報告）、前年度実績比+262円と伸びている。
・営業面では、ベーカリーは新型コロナの影響を脱してパンの販売経路及び売上が復活しつつある。
また、計画通り道の駅等、お菓子の販売経路と売上が増えていることで、売上の底上げがはかれている。
・受託部門では、昆布検品の仕事が停滞する時期があったものの、ラージェストと合わせて安定した収入にはなっ て来ている。
・就労者は1名、半年定着者は2名出ている（就労移行支援体制加算）
課題と展望
・稼働率は高いが、退所者や長期休所者が出つつあるため、新規利用者の獲得を目指して受け入れを進める必要がある
・新たに就労に向けて動く方が少なくなっている。情報や機会を提供することで、就職活動をする方を増やしていくこ とで、就職者・定着者の確保を図っていくことを目指す。
・今後も原材料費高騰は続いていく見込みのため、定期的に販売価格を見直すことで、原材料費率35%を目安に利益

の安定を図っていく。
・ギフト用のパッケージ検討を継続し、焼き菓子の販売及び販路拡大を図っていく。道の駅、学校など、安定した販売先 の他、ECサイト等の活用も検討する。製造量の限界が近いため、どのように拡大するか模索が必要。
・受託部門の委託元企業と交渉し、仕事の拡大及び委託費増を図る。
・minaは引き続き、外部とのコラボレーション企画等を行い、売上上昇と外部とのパイプ役を担っていく。
・総じて、平均工賃月額13,000円の水準を目指す。
・全部門を通じ、インボイス制度の対応（取引事業者の対応確認、関連書類様式の見直し等）を進める。
・利用者の対人関係トラブルが多いため、スタッフの層を厚くすることで相談対応や安心できる環境づくりを図り、 対応の必要な案件の減少を図る。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 オリーブ 定員 20 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	2	0	
退所者数	3	1	・他の福祉サービス（生活介護・自立訓練）利用のため。
期末登録利用者数	32	31	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	2,310	2,199	開所日	124	125	利用率	93%	88%
年度合計	4,509		年度合計	249		年度合計	91%	

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性	1	2	1	3	5	3	2	0	0	17	47
女性	0	4	1	3	4	2		0	0	14	43
計	1	6	2	6	9	5	2	0	0	31	45

(診断別登録者数)

分類	精神障害											計	
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害	
件数	12		1	2			1	1		3	10	1	
計	20										10	1	31

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5月30日	食中毒・熱中症予防研修	21	11月22日	感染症衛生研修	20
6月21日	パルファン喫茶ツアー	3	1月20日	パルファン喫茶ツアー	5
6月22日	パルファン喫茶ツアー	5	1月26日	パルファン喫茶ツアー	5
8月20日	職業評価・虐待チェックシート配布	10	3月14日	パルファン喫茶ツアー	4
8月12日	非常災害研修	15			
9月27日	防犯研修	22			

III. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5月24日	令和4年度新人研修	1	9月16日	法人内研修精神疾患の理解を深める	7
6月28日	事例検討会	4	2月7日	事例検討会	7
9月27日	事例検討会	4	12月1日	火災消防訓練	22
9月15日	エルダーメンター研修	3	3月22日	火災消防訓練	23
11月1日	群馬県立精神医療センター地域連携交流会「プリーゼビートのすすめ」	2	11月4日	エルダーメンター研修	3
11月29日	甲種防火管理者研修	1	12月15日	障害者施設等の感染症対策研修	6
2月7日	男性の育児休業取得促進研修	9	12月12日	サービス管理責任者更新研修	1
2月21日	医療観察制度について	1	3月8日	甲種防火管理者研修	1

3月28日	エルダーメンター研修	3	3月14日	「苦情解決について」	2
-------	------------	---	-------	------------	---

Ⅳ. 平均月額工賃

期	上半期	下半期
平均月額工賃	9,813	10,257
4年度計	10,035	

Ⅴ. 一般就労実績

期	上半期	下半期
利用者数	0	0
年度合計	0	

Ⅵ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
0	2	4	2	0	0	0	0
2		6		0		0	

Ⅶ. 評価・課題と展望

評価
利用者定員 令和4年度末時点で登録者31名。利用者平均1日18,1名。 利用者の希望に添えるよう、送迎便の検討を行っている。利用者の個々の実情に即した支援を構築。 伊勢崎特別支援学校からの見学者、希望者が毎年続いている。 利用者は伊勢崎市内（上田町近隣）の方が多く地域に根差して順調に増加し定着している。 職員の資質向上 感染症対策のため外部研修はなくなったが、事業所内にて職員の資質向上のため研修を行った。 明清会の職員の行動規範や倫理綱領や制度や障害者総合福祉法の理解を促進した。 事例検討を行いながら、利用者支援を向上していくと共に、作業現場での個々への対応を検討しあった。 新型コロナウイルス感染症拡大対応 三密を避ける対策として。室内換気、2メートルの距離、消毒、マスク着用、手洗いうがいの奨励。 清掃時における消毒、自宅での過ごし方、外出の方法等朝メンバーミーティング等において周知徹底行う。 朝通所時、玄関にて検温、記帳確認。本人及び同居者の体調管理、陽性者又は濃厚接触者発生時の対応確認。

課題と展望
利用者定員 今後も感染症予防を徹底し、利用者のニーズに合った作業を提供。生活支援・就労支援を行っていきたい。 契約企業からの受注量減少のため、作業時間の短縮を行い令和3年8月16日（月）より午前2.5時間、午後2時間のいずれかを選んで頂いている。 令和5年度からの作業時間の見直しを含む、オリーブB型の新しい形を模索していく必要がある。 作業時間を最大4.5時間に戻すため午前、午後の作業内容の検討を行う。 職員配置を考慮しながら、送迎の提供を最大限行っていきたい。
目標工賃達成に伴う売上アップ 職員一人一人が工賃向上の必要性を理解して、売り上げアップへの意識付けを行う。農業以外の作業を開拓（関根昆布、宇都宮産業、㈱ラージュスト、ノースワン等）近隣企業への営業を行う。 法人内との契約を検討中。令和4年度内に施設外就労と受託作業を併用し給付費からの補填を無くしていく。 法人収益事業県立医療センター売店「ミント」との協力体制として出張所の申請を行ったが、群馬県の認可が下りなかった。今後は工賃確立のため、一般企業からの更なる受託を開拓していく。作業の効率化と職員の配置、記録等の時間の使い方を見直す。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 社会福祉法人明清会マザーリーフ 定員 20 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	3	4	相談事業所、社会福祉協議会からの紹介
退所者数	2	6	障害者専用求人にて用務員、事務補助
期末登録利用者数	18	18	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
延べ利用者数	1,461	3,006	開所日	129	256	利用率	57%	58%
年度合計	4,467		年度合計	385		年度合計	58%	

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性		2	7	4	1		1			15	
女性			2	1						3	
計	0	2	9	5	1	0	1	0	0	18	

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害	
件数	9	4			1			1			2	1	18
計	15										2	1	18

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数

III. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
11/4	事業所見学	2			
11/8	事業所見学	2			

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 グループホーム波志江 定員 10 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	3	0	①病院より②他GHより③家族との生活から自立するため
退所者数	2	0	①②入院治療が必要なため
期末登録利用者数	10	10	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	1,532	1,820	開所日	183	182	利用率	84%	100%
年度合計	3,352		年度合計	365		年度合計	92%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計	0	0	2	4	2	1	1	10

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性			2	1		2	1			6	53.7
女性			1		2	1				4	54.6
計	0	0	3	1	2	3	1	0	0	10	54.5

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	統合失調感情障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害	
件数	9			1									10
計	10										0	0	10

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/5	誕生日会	8	11/15	非常災害訓練	7
5/30	買物ツアー	2	11/21	買物ツアー	4
6/14	消防訓練	6	12/20	防災避難訓練	7
9/13	誕生日会	9	12/22.26	買物ツアー	3

9/26	買物ツアー	4	1/17	初詣	3
9/27	不審者侵入訓練	8	1/19	買物ツアー	6
10/26	買物ツアー	2	3/23. 27	買物ツアー	4
10/31	買物ツアー	3			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	4	1/10	部署内研修スタッフミーティング	3
6/14	部署内研修「事例検討・ストレッチ」	4	2/14	部署内研修スタッフミーティング	4
7/12	部署内研修「介護研修」	4	2/21	法人内研修「医療観察制度」	2
8/9	部署内研修「生活習慣病とその予防」	4	3/14	部署内研修スタッフミーティング	3
9/13	部署内研修「事例検討」	4	3/15	法人内研修「障害者施設における苦情対応」	3
10/11	部署内研修「ノロ・インフル」	2			
11/8	部署内研修「介護研修」	3	※他、動画研修		
12/13	部署内研修「コロナ関連」	3			

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
0	0	4	7	0	0	0	0
0		11		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・入居者が新たに入り、利用者同士で声を掛け合い助け合う様子がみられた。
・入居者同士で声をかけあい助け合う姿がみられた。
・新型コロナウイルスワクチン接種、日頃の感染症対策等に協力的。
・ミーティングを通して、困り事やルールの確認をすることができ、意見を言い合うことができています。
課題と展望
・グループホームの当番が出来る人だけに偏ってしまい、負担になってしまうことがあり、見直しを行った。
・買い物ツアーの日程とあわずに、利用者が買い物に出かけられる機会が減ってしまった。
・体重増加している方が多い。散歩など軽運動や土日の食事見直しを検討する。
・ゆっくり関わる機会をもてず相談や心配事を聞くタイミングが遅れ、利用者の負担になってしまふことがある。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 グループホーム波志江 2 定員 6 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	0	0	
期末登録利用者数	5	5	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	915	910	開所日	183	182	利用率	83%	83%
年度合計	1,825		年度合計	365		年度合計	83%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			2	3				5

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性				2	2	1				5	52.4
女性										0	
計	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5	52.4

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	障害	パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害
件数	4		1										5
計	5										0	0	5

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/16	ハッピータイムカフェ	1	11/15	非常災害訓練	4
5/30	買物ツアー	2	11/29	買物ツアー	1
6/18	ハッピータイムカフェ	2	12/8	防災避難訓練	4
6/30	消防訓練	5	1/14	ハッピータイムカフェ	2
7/9	ハッピータイムカフェ	2	1/19	買物ツアー	1
9/26	買物ツアー	2	3/2	買物ツアー	2

9/29	不審者侵入訓練	4	3/18	ハッピータイムカフェ	1
10/26.31	買物ツアー	2	3/27	買物ツアー	2

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	1	1/10	部署内研修スタッフミーティング	1
6/14	部署内研修「事例検討・ストレッチ」	1			
7/12	部署内研修「介護研修」	1			
9/13	部署内研修「事例検討」	1			
10/11	部署内研修「ノロ・インフル」	1	※他、動画研修		
11/8	部署内研修「介護研修」	1			
12/13	部署内研修「コロナ関連」	1			

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
2	0	4	7	0	0	0	0
2		11		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・コロナ感染者がでなかった。
・それぞれの個性がぶつかり合う事があるが、大きなトラブルにならずに生活を送ることができた。
・入居者が協力し合って生活することができた。
課題と展望
・入居者が気持ちよく生活できるよう、話し合いの場を設ける。
・こまめに庭の手入れなど環境を整備できるとよい。
・服薬について重大な事故があった。居室内の掃除等から様子を確認すること、余剰の薬がためられていないかの確認、入居者間のトラブルについて状況を把握し、対応する。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名

グループホーム波志江3

定員

10

名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	0	0	
期末登録利用者数	10	10	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
延べ利用者数	1,830	1,820	開所日	183	182	利用率	100%	100%
年度合計	3,650		年度合計	365		年度合計	100%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			4	3	2	1		10

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性				2	2	2				6	56.1
女性					2	1	1			4	59.6
計	0	0	0	2	4	3	1	0	0	10	57.8

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	適応障害	側頭葉てんかん	発達障害	障害パースナリティ	その他	知的障害	身体障害	適応障害（＋１） 知的障害（＋１）
件数	8		1				1						
計	10											0	

適応障害 (+1)
知的障害 (+1)

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/26	食事会	10	10/13	買物ツアー	3
5/24	誕生日会	10	10/25	誕生日会	9
5/31	買物ツアー	3	11/15	非常災害訓練	9
6/14	消防訓練	6	11/22	誕生日会	9

6/28	誕生日会	10	12/20	防災避難訓練	13
7/26	誕生日会	10	12/26	クリスマス会	9
8/23	誕生日会	10	1/24	誕生日会	9
9/27	誕生日会	9	2/14	誕生日会	10
9/29	誕生日会	9	3/28	誕生日会	10

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	2	3/15	法人内研修「障害者施設における苦情対応」	1
6/14	部署内研修「事例検討・ストレッチ」	2			
7/12	部署内研修「介護研修」	2			
8/9	部署内研修「生活習慣病」	2			
9/13	部署内研修「事例検討」	2	※他、動画研修		
10/11	部署内研修「ノロ・インフル」	2			
11/8	部署内研修「介護研修」	2			
2/21	法人内研修「医療観察制度」	2			

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
3	3	16	18	0	0	0	0
6		34		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・嚥下体操を毎日継続できた。・感染対策し、コロナ感染者が出なかった。
・GH当番を各自、または声かけで行うことができた。
・毎月、入居者の希望を聞き、誕生日会や食事会を行うことができた。
課題と展望
・高齢化に伴うADLの低下
・他科受診の増加
・早めの受診、検査を支援することによる疾病の早期発見。
・転倒が多くみられたため、筋力低下を防ぐため散歩等を促す。
・入居者間でのトラブルが多い。伝え方の工夫、日常的なコミュニケーションを意識し支援する。
・体重増加、高血圧、中性脂肪、胃炎、逆流性食道炎等の症状がある方が多い。
・物のやりとり等のトラブルがあるため、ルールの確認。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 グループホームメゾンド・グレコ 定員 6 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	0	0	
期末登録利用者数	6	6	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	1,098	1,092	開所日	183	182	利用率	100%	100%
年度合計	2,190		年度合計	365		年度合計	100%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			3	2	1			6

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性			1	1	4					6	48.2
女性										0	
計	0	0	1	1	4	0	0	0	0	6	48.2

(診断別登録者数)

分類	精神障害											計	
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	障害 パーソナリティ	その他	知的障害	身体障害	
件数	4		1					1					6
計	6										0	0	6

II. 主な活動の状況（行事・レク等）

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/12	食事会	5	10/26	買物ツアー	1
7/7	自衛消防訓練	5	10/31	買物ツアー	1
7/19	食事会	6	11/21	買物ツアー	3
9/13	食事会	6	12/22	買物ツアー	1

9/26	買物ツアー	1	12/26	買物ツアー	1
9/29	買物ツアー	1	3/23	買物ツアー	2

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/12	部署内ミーティング	1	10/11	部署内研修「ノロウイルスとインフルエンザ」	1
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	1	11/15	非常災害訓練	6
6/14	部署内研修「事例検討、ストレッチ」	1	11/22	精神疾患の理解を深める	1
8/9	部署内研修「生活習慣病」	1	12/13	部署内ミーティング	1
9/13	部署内研修「事例検討」	1	1/10	部署内ミーティング	1
			2/21	法人内研修「医療観察法」	1
			3/15	法人内研修「苦情対応」	1

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
0	0	2	1	0	0	0	0
0		3		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・感染対策、入居者の協力により、コロナウイルス感染者が出なかった。
・調子の波はあったが、各々が受診や休息、職員への相談等の対応を工夫して乗り越えることができた。
課題と展望
・肥満の方に対し、食生活の見直し、散歩の声かけ、一緒に散歩へ行く。
・掃除当番の徹底。1人が負担になりすぎないようにする。また、職員が一緒に行くことで習慣になるよう支援する。
・担当職員が変わったことで、今までの役割があいまいになっている
展望
・外出機会が増え、感染対策を行いながら入居者のやりたい事や楽しみを支援できると良い。
・顔を合わせての食事会が開催できると良い。
・ゴミ捨て当番、炊飯器の使い方について決めていく
・ミーティングの機会を増やす

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 グループホームナカノ 定員 10 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	1	1	①入院治療が必要なため②死去
期末登録利用者数	9	8	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	1,769	1,483	開所日	183	182	利用率	97%	81%
年度合計	3,252		年度合計	365		年度合計	89%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			2	4	2			8

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性				1	1	2	2			6	64.4
女性							2			2	74.8
計	0	0	0	1	1	2	4	0	0	8	69.6

(診断別登録者数)

分類	精神障害												計	
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	障害 パ ー ソ ナ リ テ イ	反応性精神病	知的障害	身体障害	精神遅滞（+ 1）	
件数	6		1							1				8
計	8										0	0		8

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/26	食事会	9	11/15	非常災害訓練	7
5/24	食事会	9	11/21	買物ツアー	1
5/30	買物ツアー	1	12/13	誕生日会	7
6/7	誕生日会	9	12/20	防火避難訓練	4

6/14	防火避難訓練	8	1/17	初詣	2
7/26	食事会	9	1/17	誕生日会	8
8/9	誕生日会	9	1/19	買物ツアー	1
9/13	誕生日会	9	2/14	誕生日会	8
9/26	買物ツアー	3	3/23	買物ツアー	2
9/28	防犯訓練（不審者訓練）	9			
10/26.31	買物ツアー	2			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/12	部署内ミーティング	4	12/13	部署内研修「コロナ関連」	3
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	2	1/10	部署内研修スタッフミーティング	1
6/14	部署内研修「事例検討、ストレッチ」	2	2/14	部署内研修スタッフミーティング	2
7/12	部署内研修「介護研修」	3	2/21	法人内研修「医療観察制度」	0
8/9	部署内研修「生活習慣病」	4	3/14	部署内研修スタッフミーティング	3
9/13	部署内研修「事例検討」	3	3/15	法人内研修「障害者施設における苦情対応」	2
10/11	部署内研修「ノロ・インフル」	3			
11/8	部署内研修「介護研修」	3			

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
0	0	7	3	0	0	0	0
0		10		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・コロナウイルス感染者を出すことなく過ごすことができた。
・ワクチン接種、ガン検診など希望者全員に行うことができた。
課題と展望
・高齢化に伴い、体力の低下がみられる。体力維持のため、散歩、外出の声かけや感染対策を徹底する。
・他科受診が増加している。
・職員が同行しない受診について、受診の内容や処方などの確認を徹底していく。
・年齢、健康状態により、必要な支援をその都度、検討しながらすすめていく。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名

グループホームつつみ

定員

4

名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	0	0	
期末登録利用者数	4	4	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
延べ利用者数	732	728	開所日	183	182	利用率	100%	100%
年度合計	1,460		年度合計	365		年度合計	100%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			3		1			4

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性			1	1	1	1				4	50.6
女性										0	
計	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4	50.6

(診断別登録者数)

分類	精神障害										計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	障害	パーソナリティ障害	精神遅滞 (+1)
件数	4										4
計	4										4

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/16	ハッピータイムカフェ	3	10/26	買物ツアー	2
5/10	食事会	4	11/29	買物ツアー	1
5/30	買い物ツアー	1	12/27	誕生日会	4
6/7	食事会	4	1/17	誕生日会	4

6/24	消防訓練	4	2/14	誕生日会	4
8/23	誕生会	4			
9/26	買い物ツアー	2			
9/30	不審者侵入訓練	4			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	1	10/11	部署内研修「ノロウイルスとインフルエンザ」	1
7/12	部署内研修「介護研修」	1	11/8	部署内研修「介護研修」	1
9/13	部署内研修「事例検討」	1	12/13	部署内ミーティング	1
			1/10	部署内ミーティング	1
			2/14	部署内ミーティング	1
			3/14	部署内ミーティング	1

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
1	0	0	0	0	0	0	0
1		0		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・ コロナワクチン4回目をほとんどの方が受けられ、陽性者が発生しなかった。
・ 大きく体調を崩すことなく安定して生活を送ることができた。
・ ひとりひとりがGHつつみを居心地のいい安心できる場所だと感じている。
・ グループホーム内の人間関係が良く、思いやりと優しさを持って生活されている。
課題と展望
・ 新しく入居された方に個別に対応する場面が多く、他の入居者が遠慮してしまう事が多い。
・ ゆっくり話を聞く時間を設定できず、多く時間をとれてる方とれていない方との差が大きい。
・ 個別に話を聞くよう配慮し、支援していく。
・ 障害の特性の理解を深め、その方らしい生活を送れるよう支援する。
・ 一人の利用者が不調になると、周りの利用者も不調になるため、距離が保てるよう支援する。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名 グループホームリアン上田 定員 10 名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	0	0	
期末登録利用者数	10	10	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
延べ利用者数	1,830	1,820	開所日	183	182	利用率	100%	100%
年度合計	3,650		年度合計	365		年度合計	100%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			2	4	4			10

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性			2	1	2	2		1		8	56.1
女性				1			1			2	61.8
計	0	0	2	2	2	2	1	1	0	10	58.9

(診断別登録者数)

分類	精神障害											計	
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	統合失調症型パーソナリティ障害	その他	知的障害	身体障害	
件数	7								1		2		10
計	8										2	0	10

自閉症スペクトラム (+2) 軽度精神遅滞 (+1)

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/9	誕生日会	10	10/29	誕生日会	10
4/30	食事会	10	11/15	非常災害訓練	7
5/21	食事会	10	11/26	食事会	10
6/18	誕生日会	9	12/23	防災避難訓練	7

6/26	防火避難訓練	8	12/24	クリスマス会	10
7/16	誕生日会	9	1/14	誕生日会	10
8/27	誕生日会	10	2/18	誕生日会	10
9/17	誕生日会	9	3/18	誕生日会	10
9/26	防犯訓練（不審者侵入訓練）	8			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
4/12	部署内ミーティング	1	12/13	部署内研修「コロナ関連」	1
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	1	1/10	部署内研修スタッフミーティング	1
6/14	部署内研修「事例検討、ストレッチ」	1	2/14	部署内研修スタッフミーティング	1
7/12	部署内研修「介護研修」	2	2/21	法人内研修「医療観察制度」	1
8/9	部署内研修「生活習慣病」	1	3/14	部署内研修スタッフミーティング	1
9/13	部署内研修「事例検討」	1	3/15	法人内研修「障害者施設における苦情対応」	1
10/11	部署内研修「ノロ・インフル」	2			
11/8	部署内研修「介護研修」	1	※他、動画研修		

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
5	3	1	14	0	0	0	0
8		15		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・新型コロナウイルスの感染者が出てしまったが、入居者間、職員の協力により感染拡大せず、食い止めることができた。
・誤嚥予防のための夕食前の嚥下体操を継続できている。
・毎月の誕生日会で入居者の希望を取り入れており、楽しみにになっている。
課題と展望
・コロナ禍での生活に慣れてきているように感じるが、目に見えないストレスにより、調子を崩さないよう様子確認をしていく。
・生活習慣病や身体的愁訴に対する支援。
・生活に無理のないようコミュニケーションによる意思決定を傾聴、共感し、意欲を引き出しストレスの軽減を図る。
・定期検診や受診により、内科的健康観察、日々の健康チェックの必要性を伝えていく。
リスクマネジメントの強化、運動の習慣をつけ転倒防止に努める。

社会福祉法人 明清会 令和4年度 実績報告書

施設名

グループホームこさの

定員

4

名

I. 利用者の状況

(入退所者数)

期	上半期	下半期	入退事由
入所者数	0	0	
退所者数	0	0	
期末登録利用者数	4	4	

(延べ利用者数および利用率)

	上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期
述べ利用者数	732	728	開所日	183	182	利用率	100%	100%
年度合計	1,460		年度合計	365		年度合計	100%	

(区分別登録者数)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
計			3	1				4

(年齢別登録者数)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計	平均
男性										0	
女性			1		3					4	49.8
計	0	0	1	0	3	0	0	0	0	4	49.8

(診断別登録者数)

分類	精神障害										計
診断名	統合失調症	うつ病	双極性障害	神経症性障害	摂食障害	依存症	てんかん	発達障害	障害	パーソナリティ障害	精神遅滞 (+1)
件数	4										4
計	4										4

II. 主な活動の状況 (行事・レク等)

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/10	食事会	4	10/31	買物ツアー	3
5/31	買物ツアー	1	11/31	買物ツアー	2
6/7	食事会	4	12/22	買物ツアー	1
6/24	消防訓練	4	12/26	買物ツアー	1

8/23	食事会	4	1/23	買物ツアー	2
9/29	買物ツアー	1	3/27	買物ツアー	1
9/30	不審者侵入訓練	4			

Ⅲ. 主な研修・訓練

月/日	内容	参加人数	月/日	内容	参加人数
5/10	部署内研修「食中毒・熱中症」	2	10/11	部署内研修「ノロウイルスとインフルエンザ」	1
7/12	部署内研修「介護研修」	1	11/8	部署内研修「介護研修」	1
9/13	部署内研修「事例検討」	1	11/5	非常災害訓練	2
			12/13	部署内ミーティング	1
			12/27	防火避難訓練	4
			1/10	部署内研修「食事」	1
			2/14	部署内ミーティング	1
			3/14	部署内ミーティング	1

Ⅳ. ヒヤリハット・事故・苦情件数

ヒヤリハット		事故		苦情		苦情第三者報告	
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
0	0	0	0	0	0	0	0
0		0		0		0	

Ⅴ. 評価・課題と展望

評価
・ひとりひとりが感染対策に努め、コロナ陽性者がでなかった。
・通所を休みがちだった方が、目標をもち前向きに通所できた。
・人間関係が良く、互いに思いやりを持って生活できた。
・必要に応じて支援会議等情報共有を行い、その方の目標に応じた一貫した支援ができています。
・体調や健康を少しずつ意識し生活を送ることができた。散歩や食事内容を改善し始める事ができた。
課題と展望
・職員に依存的になる場面多いため、持っている能力を発揮できるよう声掛けを意識し支援する。
・ご本人の思い、希望に寄り添う支援。
・入居者同士の距離が近く、過干渉になったり依存しあう事がある。
・食事に偏りがある。買い物支援を行うが、改善には至っていない。